



西 正博

販売認可の 国産液体ミルクの活用を

市長 避難所の備蓄品として
導入可能かの検討を行う

西 学者の方の指摘では、小城市は線状降水帯による豪雨や北縁断層帯による震度7程度の地震災害などが想定されると聞く。35か所の市内避難所などで色々な食料、飲料品や資材が備蓄されて

いる。今まで国内では製造が許可されておらず輸入品に頼っていた乳児用の液体ミルクに3月、国内での製造販売が認可された。哺乳ビンの洗浄やお湯の確保が不要で、避難所の備蓄品に適している

と期待されている。導入を勧めたいと思うが、市の見解について伺いたい。

液体ミルクについては常温で保管でき、湯に溶かす手間が不要で、開封してすぐに飲めることから災害時には有効で、北海道地震や西日本豪雨の際に避難所などで外国製品が使用されたこと聞いている。3月より国産品が販売されることで、災害時の備えとして注目している。市としても今後の普及状況や保存期限など確認し、備蓄が可能かの検討を行っていききたい。

その他の質問

- 公共事業の平準化を
- 食品ロス削減の推進を

総務部長 現在、育児用のミルクは、粉末のスティックタイプを避難所などには備蓄してい

(期間) 1月24日～25日
(目的及び視察地) 議会広報の編集・発行について
(福岡県春日市議会)
(大分県大分市議会)

広報編集特別委員会 視察研修報告

即時性を目的としている。「おおいた市議会だより」も市民に親しまれる市議会だよりを目指して、市民意見交換会や専門家を交えての見直し会議など、外部の意見を取り入れようとする広聴が機能していた。表紙写真は議会と関連があるものとし、議会で話題になっ

ていることや、メッセージを伝える「クローズアップ議会」ここに注目 議会の目」を新設。また、本議会での議員質問に対する執行部の対応の経過の抜粋なども掲載。平成30年6



▲春日市議会での研修の様子